

2025年10月31日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当会は、「農業専門金融機関として県下JAと一体となり石川県農業の振興と農家経済の向上を金融面から支援させていただくとともに、地域金融機関として地域社会の発展に貢献する」という理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、当会利用者のほか、県下JAの信用事業をサポートする県域組織として県下JAとお取引いただく組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

石川県信用農業協同組合連合会

I .取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3、6、7）補充原則1～5本文および（注）】

- お客様に提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、お客様が選択する商品数を絞り選びやすさを重視するほか、過去の運用実績が相対的に良好であることや手数料の水準等も踏まえたうえで、新商品を導入する際には、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性を確認し、お客様の多様なニーズにお応えできるものを選定します。利用者の皆さんにとって魅力ある金融商品を提供するため、投信運用会社と情報共有し、相互連携を行います。なお当会は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- なお、組合員・利用者の皆さんの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	7 (前年度末：7)
株式型	4 (前年度末：4)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	8 (前年度末：11)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

長期投資

- 长期投資を前提とした投資信託であること

手数料

- 手数料が良心的な水準であること

運用実績

- 過去の運用実績が相対的に良好であること

将来性

- 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

運用体制

- 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousintaku/select/>

I .取組状況

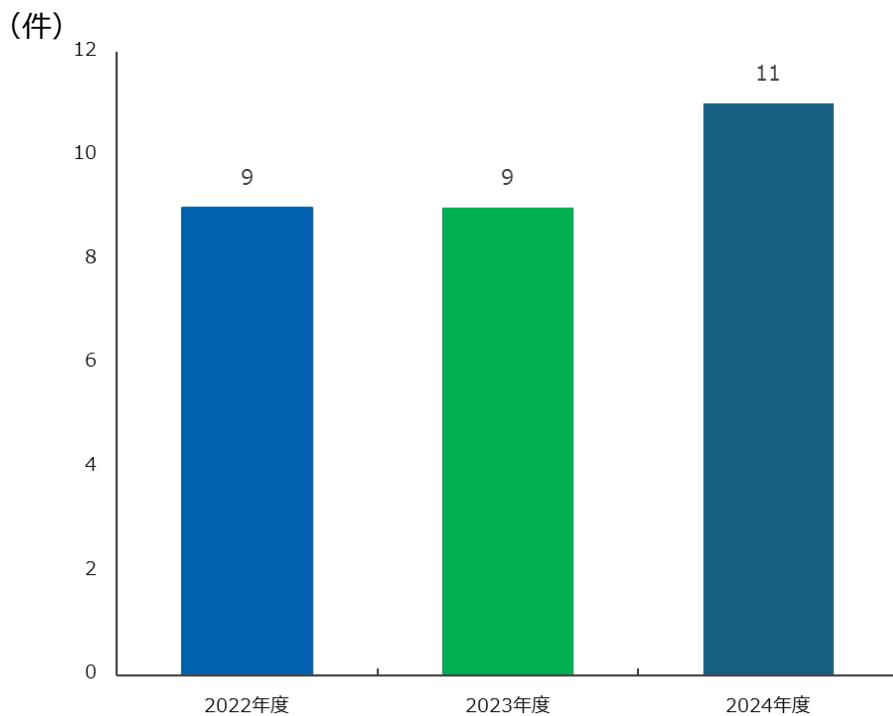
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

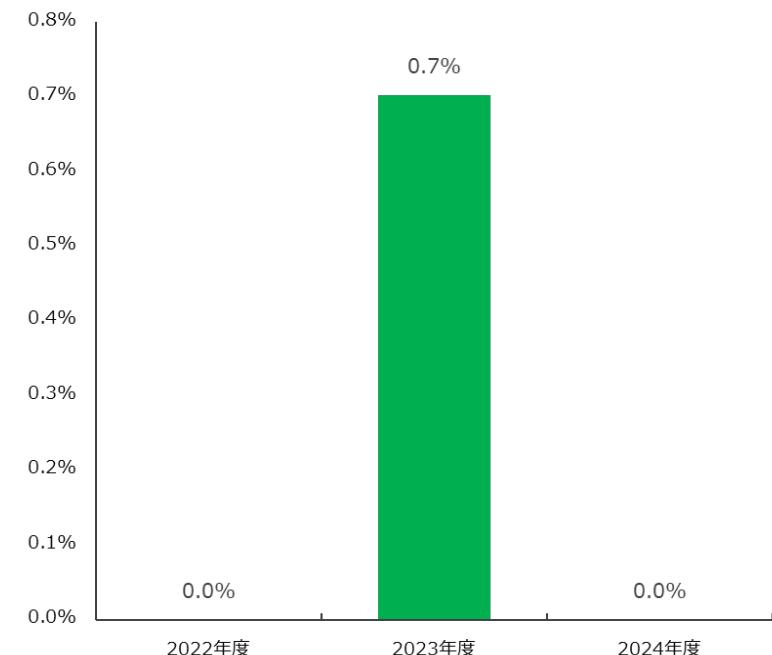
【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1～5）、
原則 6 本文および（注 1～5）】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>

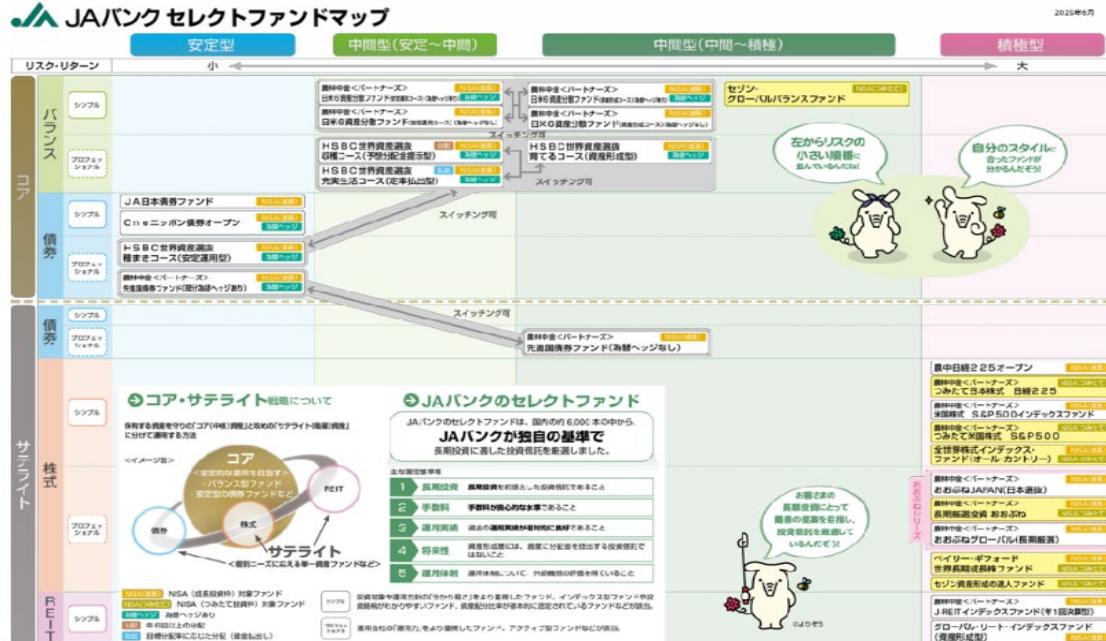


I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

（1）信用の事業活動

- ・ お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、資産運用ガイダンス等により資産運用の必要性から商品の絞り込みまでについて必要な情報を十分にご提供いたします。
 - ・ お客様にご負担いただく手数料について、お客様の投資判断に資するように、JAバンクセレクトファンスマップにより丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



「複数借入明細書(交付用貸農票)」を記入してお出し記入は下記までお問い合わせください。
石川県信用農業協同組合連合会
登録金融機関 北陸財務局長(登金)第100号

一定の投資性資産取扱いの取扱い方針等に関する重要情報シート
（企画事業者用）

1. 当組合の基本情報（当組合はお客様に金融商品の適切な選択又は相談の紹介をする者です）

組合名	石川県低利率融資組合融資組合
登録番号	主たる執務所（登記）第100号
加入協会	野村證券
当組合の概要を記したウェブサイト	https://www.ja-ja.jp/ibank/shirose/

2. 投資商品（当組合がお客様に提供できる当組合の運営は次項とおりです）

貯蓄（投資性がない）	○	貯金（投資性がない）	-
定期預金	-	定期預金	-
定期預金	○	定期預金	-
預託証券（仕組預金）	-	投信預託	○
ファンドチャージ	-	ETP、ETN	-
REIT	-	その他上場商品	-
保険（投資性がない）	○	保険（投資性がない）	-
その他投資商品			○

※他の投資商品はござりません。

3. 商品名・インパクトセイフ（商品認定のコンセプトや特徴点は次のとおりです）

3.1 A/バンクは、いろいろな「負担」に関する方に合った商品を複数つ、各自適宜おこなうべき「やり方」も考慮し、一定の基準で評価するA/バンク・セレクトランクで評価しております。また、三井住友銀行・三井ガス・システム・信託銀行・各社子会社の複数のセレクトランク（A/バンク・セレクトランク）をA/バンク・セレクトランク（A/バンク・セレクトランク）にて統一して評価しております。
3.2 A/バンク・セレクトランクについて
【A/バンク・セレクトランク】評定ランク
【A/バンク・セレクトランク】評定ランクは、主に以下の基準により商品を評定しております。選定にあたっては外的影響を考慮する場合があります。
①長期預金の年利額にて、長期預金の年利額が最も高い順位で評定されます。（この中でマーケットランクではない）
②手数料 年間手数料の割合を算出し比較して評定されます。
③運用額 評定の適用範囲が原則的に年間であります。
④取扱店舗 評定の適用範囲が原則的に全国の支店にてあります。
⑤支店による年利額の差異を考慮して評定されます。
・上記の評定ランクについては、ホームページでも掲載しております。
https://www.ja-ja.jp/ibank/toushi/soushiteki/select/
なお、貯蓄・預貸金等については、A/バンクでは、複数のお取引のリスク容許度（＝1）を確認し、リスク容許度に沿った順位で評定されます。
※A/バンクの評定ランクは、その他の基準を考慮せずにそのまま評定結果にするため、A/バンクでは、リスク容許度を4分類し、それだけの範囲内に評定された順位を表示しております。

【ファンドチャージ】 A/バンク・セレクトランク（A/バンク・セレクトランク）

【ファンドチャージ】 A/バンクは、複数の一人ひとりの負担意識にからむ「投資チャージ」を1人1人生の負担を認識・実現し、その結果に応じて投資の方法を変化させ、負担感の負担が得用・活用を行つて、その結果達成を自己負担・結果的にサポートしていく「A/バンク・プロテクタ」を実現しております。
お問い合わせ窓口にてお問い合わせは、A/バンク・セレクトランクを6つのランク（A/B/C/D/E/F）に分類され、お手持の目標達成に応じて最高層コスルが選別してお問い合わせしております。お問い合わせ窓口にてお問い合わせは、A/バンク・セレクトランクを6つのランク（A/B/C/D/E/F）に分類され、お手持の目標達成に応じて最高層コスルが選別してお問い合わせしております。

4. 高齢・相続窓口

相続相談窓口	076-240-5181
相続税申告窓口	野村證券
相続手続サポートセンター相談窓口	0570-016811 (03-5251-6811)

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- ・お客様の利益を不当に害するがないように、金融商品の販売・推奨等において利益相反が生じやすい場面においては重要情報シートの活用により具体的説明を行うなど、利益相反管理方針に基づき、適切に管理しております。
- ・営業部門から独立した監査室を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- ・以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①お客様と当会の間の利益が相反する類型
(例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合)
 - ②特定のお客さまの利益を他のお客さまの利益より優先する取引
(例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合)

【原則2本文および（注）、原則6
（注5）原則7本文および（注）】

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

① お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 研修による指導や資格取得の推進を通じて、お客さまの多様な資産運用等のニーズに対し、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
- また、県下JAに対し、農林中央金庫が提供する各種研修プログラムを活用し人材育成を支援してまいります。

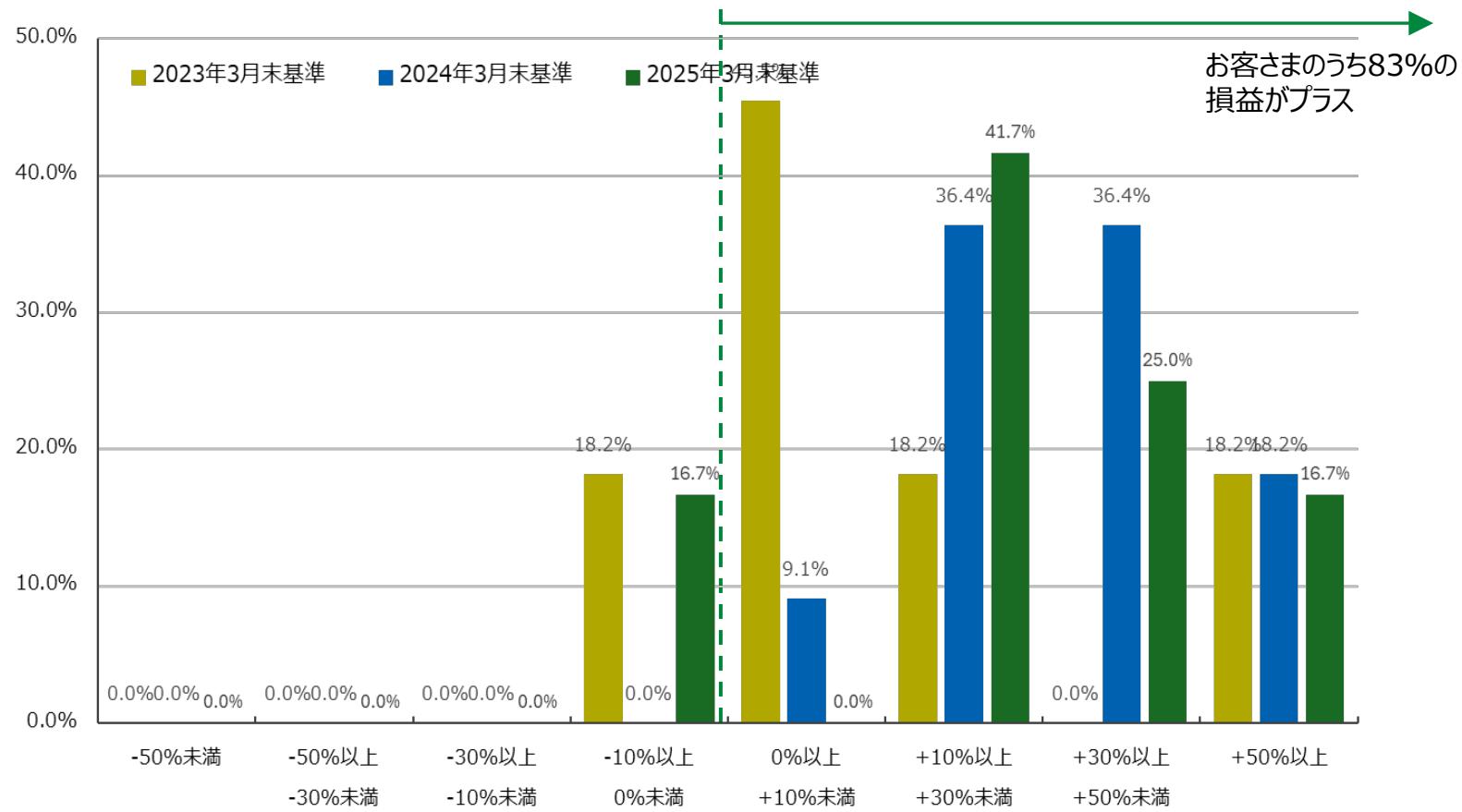
② お客さまの声を活かした業務改善

- 当会は、お客さまから寄せられたご意見・ご要望・ご相談を真摯に受け止め、業務改善に努めます。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の83%のお客さまの損益がプラスとなりました。

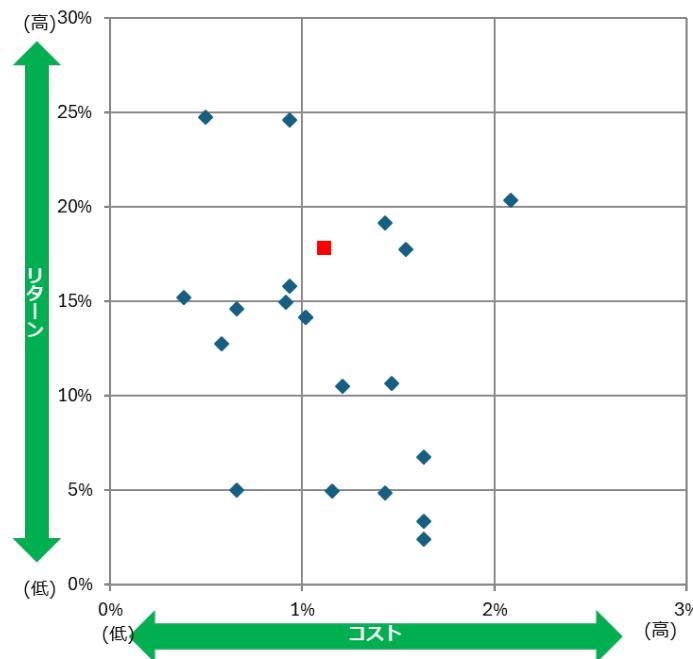


Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

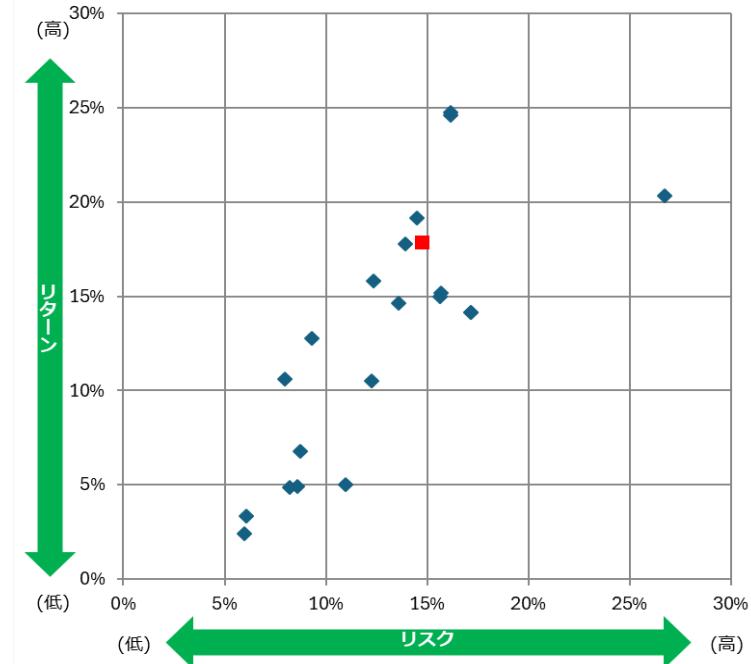
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.11%、平均リスク14.74%に対して、平均リターンは17.85%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



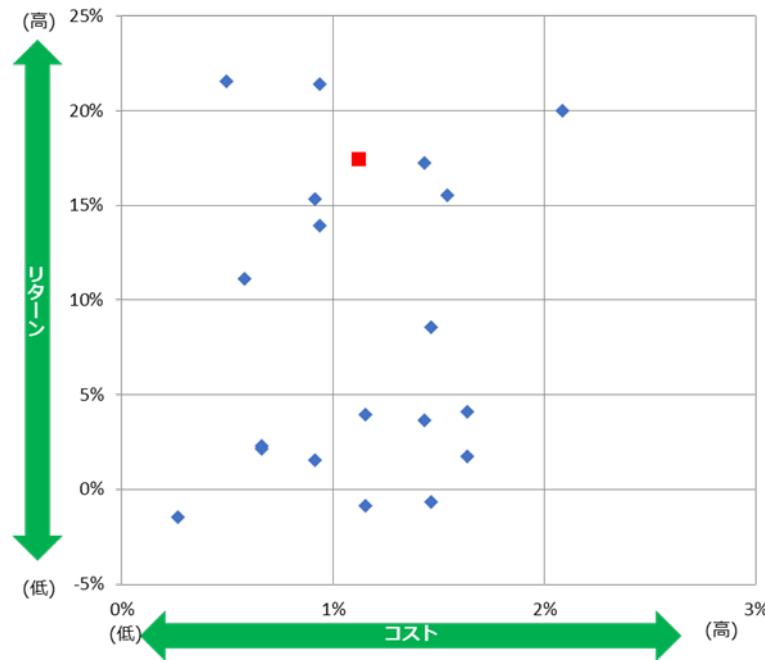
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

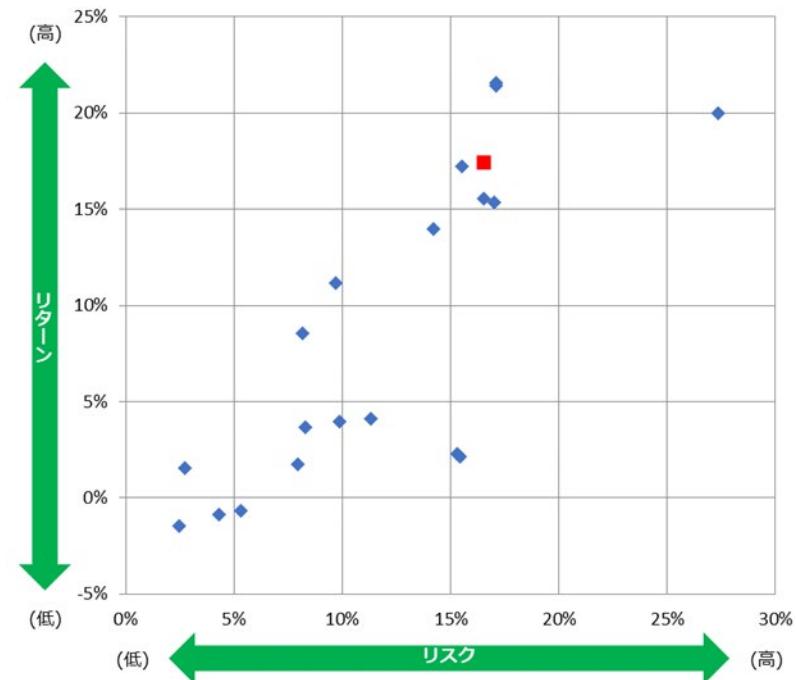
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.12%、平均リスク16.52%に対して、平均リターンは17.42%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



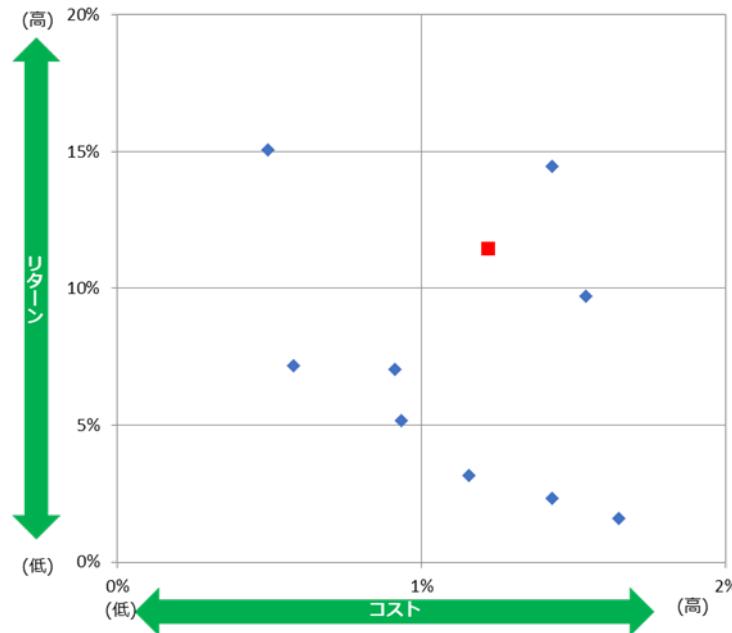
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

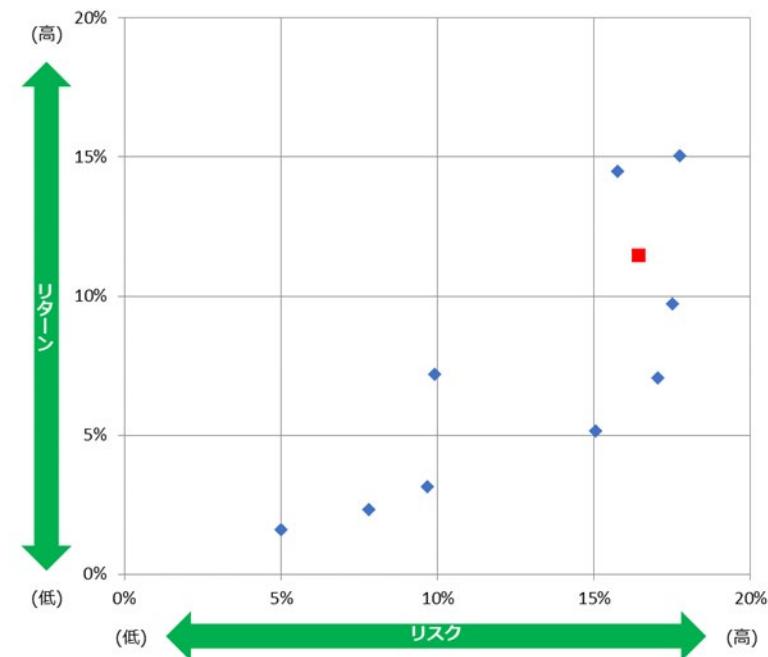
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.22%、平均リスク16.41%に対して、平均リターンは11.46%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
2	おおぶね JAPAN（日本選抜）	農林中金バリューアインベストメント(株)	10.52%	12.27%	1.21%
3	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
5	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
7	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三井UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
8	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.82%	12.33%	0.94%
9	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューアインベストメント(株)	14.63%	13.58%	0.66%
10	HSBC世界資産選抜 育てるJ-REIT(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
11	J-REITインデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
12	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
14	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
15	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	4.84%	8.22%	1.43%
16	ローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型) 世界のやどか	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
17	ローバル・リート・インデックスファンド(毎月決算型) 世界のやどか	大和アセットマネジメント(株)	14.14%	17.14%	1.02%
18	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三井UFJアセットマネジメント(株)	10.63%	7.96%	1.46%
19	HSBC世界資産選抜 収穫J-REIT(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
20	HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型) 人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.85%	14.74%	1.11%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
6	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
7	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
8	HSBC世界資産選抜 育てるJ-REIT(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	4.09%	11.30%	1.63%
9	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
11	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
12	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
13	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
14	HSBC世界資産選抜 収穫J-REIT(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント㈱	1.75%	7.95%	1.63%
15	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
16	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
17	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
18	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
19	JAT日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.42%	16.52%	1.12%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は19本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
5	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
6	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
8	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
9	JA海外債券ファンド(隔月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	1.59%	5.00%	1.65%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		11.46%	16.41%	1.22%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。